

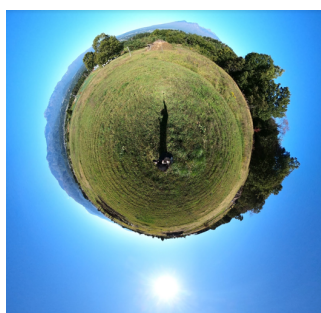


Sense Island -感覚の島- 暗闇の美術島 2021

アーティスト・作品詳細とチケット発売についてのご案内 会期中イベントのお知らせ

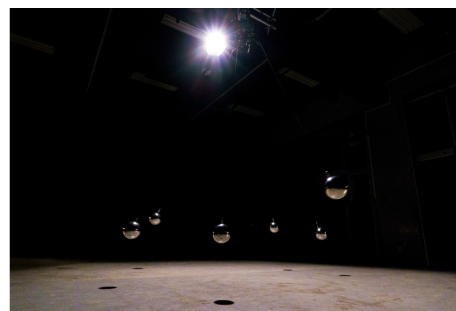
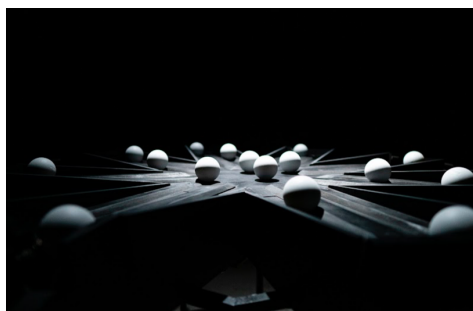
Sense Island -感覚の島- 暗闇の美術島 2021 は、2022 年 1 月 22 日 より開催いたします。今回参加するアーティストについて、詳細をお知らせいたします。また、11 月 25 日からはチケットの発売を開始いたしました。ご参加をご希望の方はお早めにウェブサイト (<https://senseisland.com>) よりお求めください。

①参加アーティスト、タイアップアーティストのご紹介



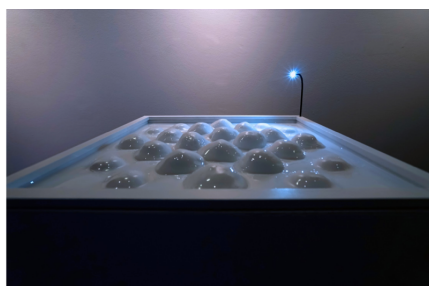
井村一登 Kazuto Imura

1990 年京都市生まれ。2017 年東京藝術大学大学院美術研究科先端芸術表現専攻修了。2021 年に個展「井村一登 展 mirrorrim」(日本橋三越本店コンテンポラリーギャラリー)。同年、NONIO ART WAVE AWARD 2021 審査員特別賞名和晃平賞受賞。ハーフミラー、球体鏡、LED などを用いて視覚や認識にかかわる 光学的作品を手がける。近年は、鏡の歴史とルッキズムに関心を寄せ、鏡の素材・技法を再構成し「自分が映らない」鏡を制作している。



小野澤峻 Shun Onozawa

1996 年群馬県生まれ。東京藝術大学大学院美術研究科先端芸術表現専攻修了。ジャグリングパフォーマーの感覚を切り口として、文化や地域を超えた身体や意識の深いところにある、根源的な好奇心を刺激する現象を追求している。主な展覧会に「Media Ambition Tokyo」(渋谷スクランブルスクエア、東京、2020/森アートセンターギャラリー、東京、2021)、「Smart Illumination」(象の鼻テラス、神奈川、2019)、「技藝フェス techxart festival」(100BANCH、東京、2019)、「prize 展」(東京藝術大学取手校地、茨城、2019)など。



寛 康明 Yasuaki Kakehi

研究者/アーティスト。東京大学大学院准教授。物理素材を操るフィジカルインタフェース研究や、物質変化に環境や身体との関係を取り込むインスタレーション制作に取り組む。近年の活動に、Ars Electronica Festival、「Ambient Weaving - 環境と織物」(HOSOO GALLERY)、「Journey on the Tongue」(INTERSECT BY LEXUS - TOKYO) での展示・作品発表など。科学技術分野の文部科学大臣表彰若手科学者賞、文化庁メディア芸術祭アート部門優秀賞など受賞。

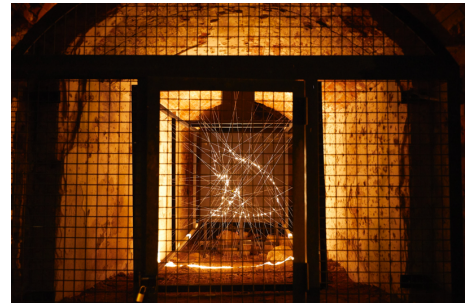
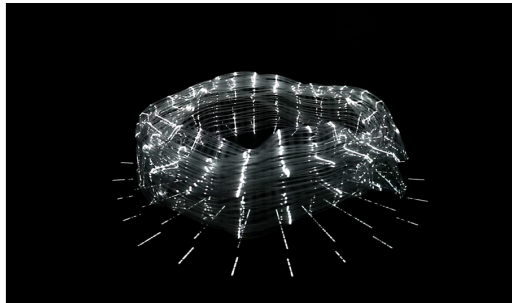


忽那 光一郎 Koichiro Kutsuna

1973年生まれ、文化学院卒業。2000年頃より夜の空を飛ぶ飛行機の軌跡と地上にある構造物とを大判のフィルムカメラで撮影した風景のシリーズを『風速0』として発表、国内外で個展、グループ展に参加している。猿島で撮り下ろした飛行機の光の軌跡を島内に展示予定。

7

8

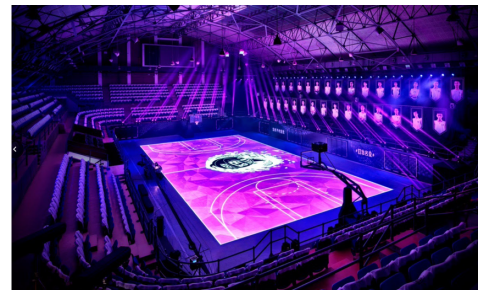


後藤 映則 Akinori Goto

1984年生。古くから存在する手法やメディアと現代のテクノロジーを掛け合わせ、目に見えない事象や関係性を捉える造形制作やインスタレーションを行う。代表作の「toki-」シリーズはアルスエレクトロニカやSXSW Art Programなど国内外で展開している。前回島内に点在させた作品や会期前に実施した地域の方々と行ったワークショップで制作した作品を設置予定。

9

10

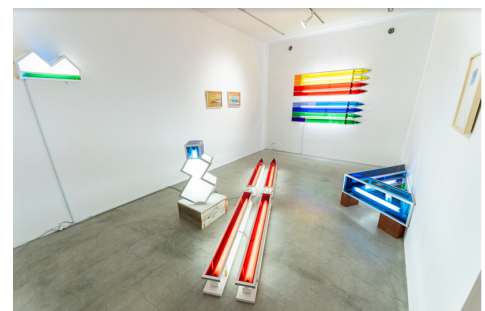


齋藤 精一 Seichi Saito

1975年神奈川県生まれ。建築デザインをコロンビア大学建築学科（MSAAD）で学び、2000年からニューヨークで活動を開始。06年株式会社ライゾマティクス（現：株式会社アブストラクトエンジン）を設立し、アーキテクチャー部門「パノラマティクス」を率いる。行政や企業の企画、実装アドバイザーも数多く行う。

11

12



中崎 透 Tohru Nakazaki

1976年茨城県生まれ。美術家。現在、茨城県水戸市を拠点に活動。看板をモチーフとした作品をはじめ、パフォーマンス、映像、インスタレーションなど、形式を特定せず制作を展開している。2006年末より「Nadegata Instant Party」を結成し、ユニットとしても活動。2007年末より「遊戯室（中崎 透+遠藤 水城）」を設立し、運営に携わる。2011年よりプロジェクトFUKUSHIMA!に参加、主に美術部門のディレクションを担当。島内に残るレンガからイメージを想起させた作品を展示予定。

13

14



幅 允孝 (有限会社BACH (バッハ) 代表 ブックディレクター) Yoshitaka Haba

15

16

人と本の距離を縮めるため、公共図書館や病院、学校、ホテル、オフィスなど様々な場所でライブラリーの制作をしている。最近の仕事として「早稲田大学 国際文学館 (村上春樹ライブラリー)」での選書・配架、札幌市図書・情報館の立ち上げや、ロンドン・サンパウロ・ロサンゼルス の JAPAN HOUSE など。安藤忠雄氏の建築による「こども本の森 中之島」ではクリエイティブ・ディレクションを担当。



細井 美裕 Miyu Hosoi

17

18

1993 年生まれ、慶應義塾大学卒業。マルチチャンネル音響をもちいた空間そのものを意識させるサウンドインスタレーションや、舞台公演、自身の声の多重録音を特徴とした作品制作を行う。SHURE24: 世界のオーディオカルチャーをプッシュする 24 人に選出。第 23 回文化庁メディア芸術祭アート部門新人賞受賞。

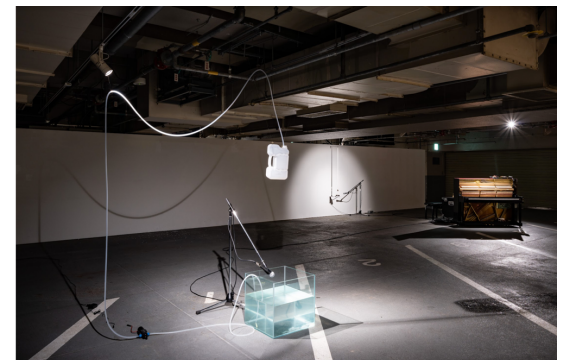


mamoru

19

20

2016 年ハーグ王立芸術アカデミー／音楽院、アーティストリック・リサーチ修士課程修了。資料の読み込み、インタビュー、状況の再現、フィールドレコーディングなど様々な手法を駆使しつつ誰も気に留めないような小さな声に耳を傾け、「聴くこと」から「あり得た (る) かもしれない」歴史を跳躍的に想像し、現在の複数性、そして未来を可能にするためのオルタナティブな世界観を模索し続ける。国内外の美術館、ギャラリー、フェスティバルなどでレクチャー・パフォーマンス、映像・音響、ビデオエッセイなどを発表。猿島に残る落書きからインスピレーションを受け、猿島の歴史を紐解くような作品を公開する。



毛利 悠子 Yuko Mori

21

22

1980 年、神奈川県生まれ / 東京在住。コンポジション (構築) へのアプローチではなく、環境などの諸条件によって変化してゆく「事象」にフォーカスするインスタレーションやスカルプチャーを制作。主な個展に、「SP」Ginza Sony Park (2020) 「Voluta」カムデン・アーツ・センター (ロンドン、2018)、「ただし抵抗はあるものとする」十和田市現代美術館 (2018)、ほか、数々の国際展およびグループ展に参加。2015 年 ACC にて渡米のほか、日産アートアワードグランプリ (2015)、第 67 回芸術選奨文部科学大臣新人賞 (2017) など受賞多数。2018 年には文化庁文化交流使として中国に滞在。



鮫島 弓起雄 Yumikio Sameshima

1985年生。「展覧会場自体を展示する」をキーワードに、展示する空間の特性やその場が持つストーリー、要素を利用して、物理的にもコンセプトの面でもその場と深く関わり、他の場所ではできないような作品を展開している。また、作品制作以外でも、アート系国際交流会主催、メキシコとの交流プロジェクトの運営に携わるなどしている。



23



24



25

HAKUTEN CREATIVE 高橋 匠、中樂 康二、原 慎太郎 Takumi Takahashi, Koji Nakae, Shintaro Hara

"体験"を通じて「感動」と「共感」を創り出すクリエイティブ集団。昨今では、自主的なインスタレーションやアートワークなど様々なアプローチで体験を拡張し続けている。

②会期中イベント

海外からの注目も高いアーティストによる音楽イベントを開催します。今後、随時追加情報をご案内いたします。

日時：2022年1月29日（土）、2月11日（金祝） 20:00-20:45（予定）

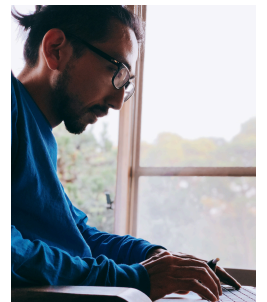
出演：HAIOKA

協力：竹川潤一（David Watts inc.）

観覧料：Sense Islandの観覧とイベントがセットになったチケットを後日発売。

伝統的な浮世絵からインスピレーションを得ているHAIOKAは、近代的なエレクトロニック・ミュージックに独自の日本的な解釈で取り組み、過去と未来、自分の祖国と世界を繋いでいる。デジタルな楽曲に、生の琴やギター、フィールド・レコーディングを加え、優雅でデリケートながら意志の強さを感じさせる音楽に仕上げる。ドイツのレーベルEmerald & Doreenから発表しているEPの数々ではアンビエントからダブステップまで、幅広いスタイルを取り入れている。

<https://haioka.jp/>



HAIOKA

そのほかプロデューサーやアーティストの解説つきバスツアーなども予定しています。ウェブサイト、SNSにて随時追加情報をご案内いたします。

開催概要

■タイトル Sense Island -感覚の島- 暗闇の美術島 2021（英語表記：Sense Island Sarushima Dark Museum 2021）

■開催日時 一般会期 2022年1月22日 [土]～3月6日 [日] 会期中の金土日および祝日と2月10日 [木] *22日間

■開場時間 16:50～21:00

■会場 猿島一帯（神奈川県横須賀市猿島1番）

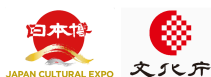
■チケット発売日 11月25日（木）より発売 *ウェブサイトから事前購入が必要

■観覧料 一般大人（高校生以上）=3,500円 小・中学生=1,500円 / 横須賀市民 大人（高校生以上）=2,500円 小・中学生=1,000円
*小学生未満無料（要事前予約） *身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と付添人1名までは無料（要事前予約）

■URL <https://senseisland.com>

■主催 Sense Island 実行委員会（横須賀集客促進・魅力発信実行委員会、株式会社アブストラクトエンジン、株式会社トライアングル）

■助成



令和3年度文化資源活用推進事業

神奈川県川崎競馬組合が主催する「川崎競馬」の収益配分金を活用した神奈川県市町村自治基盤強化総合補助金対象事業

■特別協賛 株式会社 博展 / 株式会社 静科

■協賛 後日発表

■協力 ArtSticker（株式会社 The Chain Museum）、ウシオライティング株式会社

お問い合わせ

全般お問い合わせ

Sense Island 実行委員会事務局（横須賀市文化スポーツ観光部企画課）

TEL 046-822-8427（平日 9:00-17:00） senseisland.yokosuka@gmail.com

広報用画像などプレスお問い合わせ

株式会社いろいろ 担当：市川 press@iroiroiroiro.jp

画像クレジット

- 井村一登
1. 井村一登 *wall-ordered ellipsoid* 2021 Photo by Kenryou Gu
 2. 井村一登 *mirror in the rough 11952g* 2020 Photo by Kenryou Gu
 3. 小野翠峻 *Movement act*
 4. 小野翠峻 *演ずる造形* create with Shoki Hattori
 5. 寛 康明 *Coworo* Takuya Matsunobu + Yasuaki Kakehi
 6. 寛 康明 *Soundform No.7* Yasuaki Kakehi + Mikhail Mansion + Kuan-Ju Wu
 7. 忽那光一郎 *風速0 No.616*
 8. 忽那光一郎 *風速0 No.382*
 9. 後藤映則 *造形* 撮影: Naomi Circus
 10. 後藤映則 *toki-BALLET #01*
 11. 齋藤精一 *JIKU #004 SARUSHIMA* 撮影: Naomi Circus
 12. 齋藤精一 *NIKE namba*
 13. 中崎透 *《色眼鏡でみる風景》* photo: 都甲ユウタ
 14. 中崎透 *《Poolside Snowman》* 展覧会風景 photo: 門間友佑
 15. 幅 允孝 *こども本の森 中之島*
 16. 幅 允孝 *こども本の森 遠野*
 17. 細井美裕 山口情報芸術センター [YCAM] *scopic measure #16 「Lenna」* 撮影: 谷康弘 写真提供: 山口情報芸術センター [YCAM]
 18. 細井美裕 *Sound Mine Photo Credit* 撮影: 谷康弘 写真提供: 山口情報芸術センター [YCAM]
 19. mamoru *THE WAY I HEAR / 想像のための幾つかのスコア* 国立国際美術館 (2015)
 20. mamoru *ビデオ・インスタレーション、DOMANI 明日展、国立新美術館 (2018)*
 21. 毛利悠子 *《Untitled》* 2020 Photo by Kenshu Shintsubo. Courtesy of Artist, Project Fulfill Art Space and Mother's Tankstation
 22. 毛利悠子 *《Untitled》* 2020 Photo by Ginza Sony Park. Courtesy of Artist, Project Fulfill Art Space and Mother's Tankstation
 23. 鮫島弓起雄 *善福寺公園一角之図*
 24. 鮫島弓起雄 *偽広島市現代美術館*
 25. HAKUTEN CREATIVE 高橋 匠、中榮 康二、原 慎太郎 *Prism* デザイナー / アーティスト: 高橋 匠、クリエイティブディレクター: 南 正一郎、制作管理: 熊崎 耕平、プロデューサー: 高橋広樹、写真: 金 東奎